

JET からの手紙

広がる世界 ～異文化を生きる～

群馬県前橋市役所文化国際課 国際交流員
Jalen Cox (ジェイレン・コックス)

再び日本へ

2018年5月18日、大学卒業式の日 JET プログラムの配属先の通知が届きました。「群馬県前橋市」という所は初めて聞きましたが、やっと日本に戻れるという嬉しい気持ちでいっぱい、顔が綻びました。

前橋市に初めて到着するまで、他の1年目のJET参加者と一緒にいましたが、私だけが前橋市に配属されたので、緊張感に加えて、孤独感にも溢れていました。しかし、当時の担当者や係長に心温かく迎えられ、少し楽になりました。

その後、前橋市役所の高いところから前橋市の風景を少しの間眺めました。私の出身地であるテキサス州ヒューストン市は土地が平らですが、前橋市には山があり、職場から見える眺望絶佳の風景に見惚れました。前橋市に引っ越ししてから4年ほどが経っても、見飽きない風景です。「ここで2年間働いて、帰国します」と当時の私は思いましたが、今は5年目になっていて、翻訳の他、さまざまな仕事に携わっています。



前橋市・赤城山の風景

外国人支援

2022年8月末現在、前橋市の外国人人口は7,424人です。ブラジル、ベトナム、フィリピン、中国、ペルー以外の国から来た人は、32%を占めています。そのうち、約141人は英語圏からの方々です。

仕事の一部として、前橋市に住んでいる英語圏の方や、英語を少し話することができる外国人の支援を2つの方法で行っています。

1つ目の方法は、前橋市役所2階の外国人相談窓口で支援を行っています。外国人相談窓口は、市役所が設置していますが、英語以外の言語を前橋市国際交流協会に委託しています。英語の他、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、中国語の4か国語での対応もしています。私は英語の対応を担当していますが、窓口で対応する言語以外の言語を話す外国人の対応も担当しています。非英語圏の方が来庁する場合は、やさしい英語かやさしい日本語で対応しています。

普段は、外国人相談窓口に来た相談者の話を聞いてから、該当する窓口に案内し、手続きの通訳をします。手続きが必要ない場合は、私がアド



外国人相談窓口の様子

バイスをすることもあります。

2つ目の方法は、多言語ラジオです。外国人相談窓口と同じく、前橋市役所が多言語ラジオを設置していますが、放送はまえばし CITY エフエムに委託しています。

月に一度、外国人にとって必要な情報（保険・税金・ゴミ分別方法・新型コロナウイルス感染症情報など）を記載した原稿を英訳して、ラジオ局に行って収録し、翌月の初旬にラジオで放送されます。



収録時の様子

ニュースレター

「Maebashi Focus」というニュースレターを発行しています。1年前まで、私は自分でニュースレターの内容を決めていましたが、2021年4月から、形を変えました。当初は市役所の職員に、私が国際交流員（CIR）として何をしているのかということと、前橋市での生活について知ってもらえるように、私が担当者からの質問に答える形式でした。しかし、それに加えて、他に何かできないかと考えました。

ある日、私は晩ご飯にイタリア料理店に行き、市役所の

職員にばったり会って、話しかけられました。話している間に「ジェイレンさんに話しかけたいといつも思っていたけど、ちょっと恥ずかしくて遠慮した」と言われた時、アイデアを思いつきました。もしかしたら、職場で他の人も私に話しかけるのを躊躇しているかもしれないと思ったのです。

そこで、質問コーナーを企画し、市役所の職員に質問を募集しました。匿名で質問を受け付けたので、恥ずかしがらずに何でも聞いていただけました。現在は募集した質問から、3問ぐらいを選んで、こまめに答えています。

ニュースレターは市役所の職員に向けて書いているの



ニュースレター

で、日本語で作成していますが、英語を勉強している方がいるので、英語版も作成しています。

出前講座の楽しさ

仕事のおかげで、出前講座をすることが好きだということに気がきました。コロナ禍で、数回前橋市の公民館や高等学校でア



出前講座の様子

メリカ人の視点から、SDGs、男女平等、差別など、色々なことについて出前講座をしてきました。

2022年の3月初旬に、前橋市国際交流協会と協力して、協会員にアメリカの音楽を通して、英語や、アメリカの文化・歴史について発表しました。好評だったので、次回も音楽を使った講座を行いたいと思います。

今後の取り組みに係る抱負

出前講座をすることが好きなので、CIRであるうちにもっと行いたいと思います。今まで学校や公民館などで、生徒や市民に発表してきましたが、今後は、市役所の職員にも発表したいと思います。

私は日本に来て、違う国籍を持つ人と出逢って、世界が広がりました。住み慣れた場所以外の文化などについて話し合うことや、体験することは人を成長させると思っています。そこで、私がアメリカの文化・歴史・政治・風習などを中心とした講座をすることによって、誰かの世界が少しでも広がると幸いです。

プロフィール



Jalen Cox
(ジェイレン・コックス)

米国テキサス州ヒューストン市出身。2013年8月テキサス大学オースティン校入学。日本語と東アジア研究専攻。2015年、岩手県盛岡市岩手大学に1年間交換留学。大学で元CIRの発表を聞いたことが、JETプログラムを志望したきっかけ。将来は、日本の会社で翻訳者を務めるか、国際関係の仕事を希望。